



TaBiwa+R

# ふるさとワークショップ

---

2月6日(土)13:00~ @ZOOM

荒木真凜 中西愛裕美 佐藤彩香

# TaBiwa+Rの活動

---

地域をフィールドに学生のマイプロジェクトを実現し  
学生ならではの方法で滋賀の魅力を発信する

## 今年度のテーマ



若者が地域の魅力を**体験**できるきっかけをつくる



新しい時代の観光地としての地域を**発見**



学生のアイデアや魅力発信で地域活性化に**貢献**

# 今年度の活動を振り返って

## 木工体験



イスづくり体験をさせていただきました。実際に自然に触れることで木のぬくもりを身に染みて感じました。工具も本格的でとても貴重な体験ができたと思います。地域の方々も丁寧に教えてくださり、地域のぬくもりを感じました。また、コロナウイルスが落ち着いたら、もっと自然に触れたいと思います。

## Beyond Kitchen CONTEST



Beyond Kitchen運営委員会が主催するコンテストに甲賀市の食材を提供させていただきました。コロナウイルス禍で家でも滋賀県の味を楽しんでもらえるきっかけになったと思います。また、団体としても農家さんなど新たな出会いがありました。応募されたレシピはどれも斬新でとても面白かったです。

# ①びわ湖の面積は滋賀県の・・・

ANSWER

6分の1

2分の1

8%

3分の1

8%

4分の1

8%

6分の1

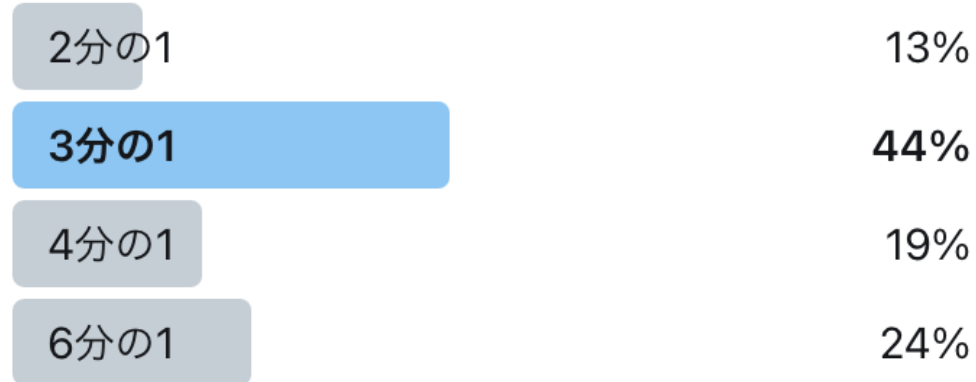
76%

この質問は正答率が高かったです！この質問は意外と有名で、学校で習った！という方も多くいると思います。でも、知らなかった方からすると、そんな広いの！と驚かれると思います。私たちも、最初に聞いたときはとてもおどろきました。地図でみるとなぜかびわ湖は大きく見えますよね。それだけ、滋賀県にとってびわ湖は大きな存在だということなのではないかなと思います。

## ②滋賀県の森林の面積は滋賀県の・・・

ANSWER

2分の1



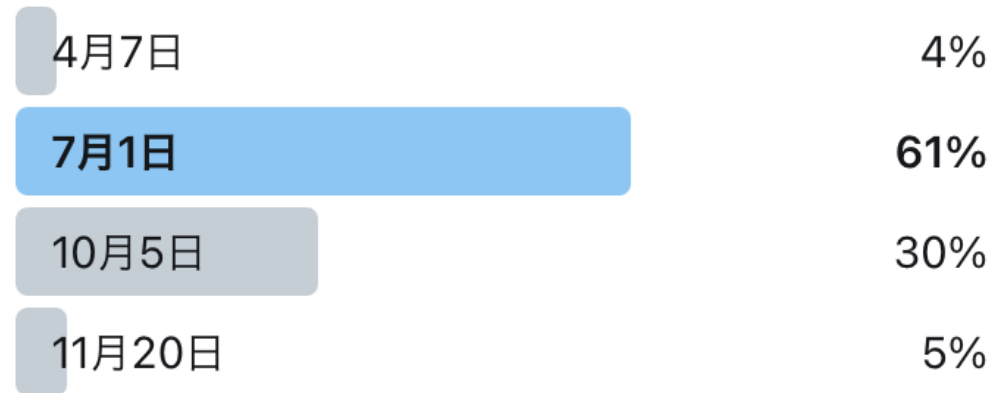
この質問は知っている方が少なかったです。滋賀県といえばびわ湖、という印象が強いのですが、森林は滋賀県の半分、びわ湖より広い面積があります！滋賀県は自然が豊かですね！

森林はびわ湖の水資源として大切な存在です。森林の保全はびわ湖の保全にもつながるのですが、まだまだ課題はたくさんあります……。その解決に向けて、いろんな世代の方に森林にふれてもらいたいと思っています。

### ③「びわ湖の日」はいつ？

ANSWER

7月1日



この質問は3分の2の方が知っておられました！  
小学校で、7月1日は琵琶湖について考えようなど  
をした経験があるのですが、まだまだ印象は薄い  
のでしょうか……。

びわ湖の日は、「滋賀県琵琶湖の富栄養化の防  
止に関する条例」ができて1周年を記念して定めら  
れました。みなさんもぜひ、この日は琵琶湖につい  
て考えるきっかけにしてもらえればと思います。

## ④植樹祭2022の中心となる都市は？

ANSWER

甲賀市



この質問は知っている方が少なかったですね。そもそも植樹祭というイベントがあることを知らない方も多いのではないのでしょうか。植樹祭は森林・緑に対する国民の理解を深めるために、毎年開催されている催しで、2022年は滋賀県が開催県となります。滋賀県のテーマは「木を植えよう びわ湖も緑のしずくから」です。このイベントを通じて、いろいろな世代の方に森林に触れ、考えてもらえればと思います。また、滋賀県では「やまの健康」という施策も進んでおり、山や森林を保全する活動が推進されています。

## ⑤ 滋賀県といえば？

---

### “琵琶湖”

やはり滋賀県といえば「琵琶湖」。そのイメージがとても強く、他にもまだまだいっぱい魅力があるのにとおもいましたが、逆に「こんなに答えが一致する県はないのでは！？」という意見も出ました。琵琶湖といえば、滋賀県の小学校ではうみのこ学習があります。最近では、「うみのこカレー」が話題になっていますね！小さいころから琵琶湖にふれる機会がたくさんあることが、滋賀県民の琵琶湖愛につながるのではないかと思います。しかし、「滋賀は琵琶湖でしょ！」という割には、私たちも含めて、あまり琵琶湖について詳しく知らない気がします。滋賀県民のなかでも、琵琶湖のどんなところがいいのか、どんな課題があるのかなど、説明できる人は多くはないと思います。たくさん琵琶湖を知って大切にしたいうえで、「滋賀といえば琵琶湖！」と言えるようにしていきたいと感じました。



## ⑥滋賀県にこんな場所がほしい！

---

- ・気軽に自然、スポーツを楽しめるところ
- ・アスレチック

県内にもアスレチックを楽しめる場所がありますが、交通の便などであまり身近に感じない人もいます。琵琶湖が真ん中にある分、県内移動が意外と大変だなと、、、。それなら、いっそのこと琵琶湖をつっきれるような船などができると面白いなと思いました！自然がたくさんあるからこそ、もっと身近に自然に触れるような機会が増えるといいなと思いました。

また、山の自然を活かした学習所などができるといいなという話がでました。今のコロナウイルスの中ではピッタリで、なんだか勉強にも集中できそうな気がしますね！山の所有問題など課題がある中で、山の資源を活かして、さらに、山に触れるような場所ができるといいなと思います。

# 総括

---

今年にはコロナウイルスの影響で、思うように活動できない部分が多くありました。その中で、他の団体とのコラボやオンラインでの取材を通じて、新たな発見や出会いがありました。そして、体験することの価値について身に染みて感じました。私たちも早く体験活動をして、滋賀県のいろいろな場所を訪れたい気持ちでいっぱいです。オンラインでできること、オフラインでできることそれぞれについて考えるきっかけになったと思います。

来年度もコロナウイルスの影響がわかりませんが、今年お世話になった方々を含め、少しでも滋賀県の地方創生について貢献できるように活動していきたいと思います。私たちも、まだまだ知らないことがたくさんありますが、皆さんにもっと滋賀の魅力を知ってもらえるような活動にしたいと思います！

今後もTaBiwa+Rをよろしく申し上げます！